

LinkCube 文字あふれ処理

あふれ処理や行長・行数指定ができる

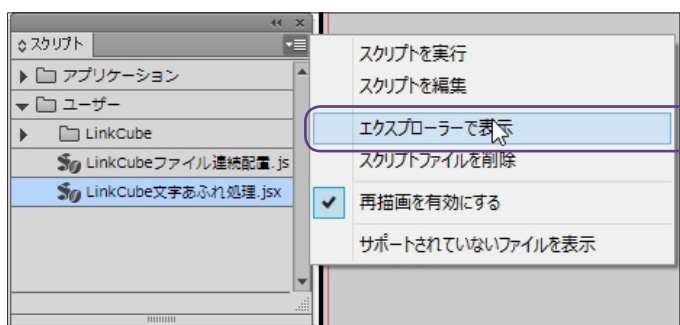
あふれた文字や、指定したスタイルが適用されている文字を水平比率・垂直比率、フォントサイズ、行送り
で調整するプログラムです。

段落・文字スタイルを指定して各スタイル毎の処理設定や、あふれたテキストフレームの一括処理もできます。
スタイルを指定した場合には、テキストフレーム内に文字が入るまで処理、または指定した行長や指定した
行数にすることができます。テキストフレーム内で均等にあふれ処理をすることもできます。

LinkCube ファイル連続変換の処理追加用の json ファイルの作成ができます。^{*1}

インストール方法

1. ダウンロードしたファイルを適当なフォルダに解凍します。
2. InDesign のスクリプトパネルを開き、アプリケーションまたはユーザーフォルダを選択します。
3. (Win) 右クリックして、[エクスプローラで表示] をクリックします。
4. (Mac) control キー+クリックして、[Finder で表示] をクリックします。
5. Scripts Panel フォルダの中に解凍後の
LinkCube 文字あふれ処理 .jsx と、LinkCube フォルダをコピーします。



アンインストール方法

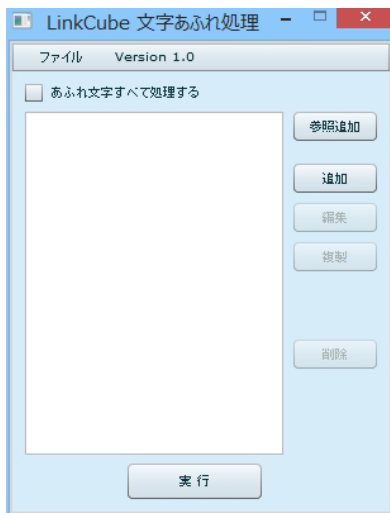
1. InDesign のスクリプトパネルを開き、LinkCube 文字あふれ処理 .jsx を選択します。
2. (Win) 右クリック・(Mac) control キー+クリックして、[スクリプトファイルを削除] をクリックします。
3. LinkCube フォルダ内の _textOverflow.jsx・m_textOverflow.jsx、段落・文字スタイル一覧 .swf、文
字あふれ処理設定 .swf、LinkCube 文字あふれ処理 .swf も削除します。

実行方法

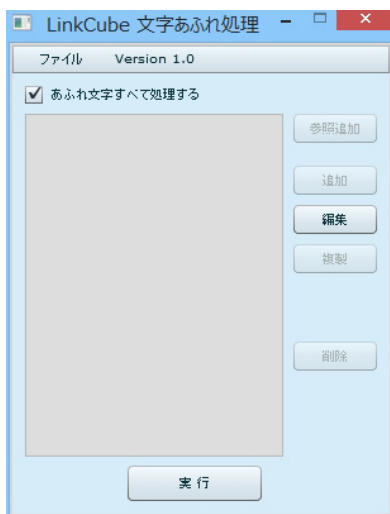
あふれ処理をするドキュメントを開きます。

スクリプトパネルを開き、[LinkCube 文字あふれ処理 .jsx] をダブルクリックします。

¹ version 1.1 から対応



あふれ文字すべて処理の場合は編集のみ
Tips
 [あふれ文字すべて処理する] にチェックの場合は、[編集] ボタンのみ有効になります。



スタイルは複数選択可能
Tips
 スタイル選択時、
 (Win) Ctrl キー／
 (Mac) command キー＋クリック、
 Shift キー＋クリック
 などで複数選択できます。

文字があふれているすべてのテキストフレームを処理する場合は、 [あふれ文字すべて処理する] にチェックを入れます。

スタイル毎に、あふれ設定や行長指定、行数指定をする場合は、[あふれ文字すべて処理する] にチェックを入れず、[参照追加] または [追加] で、処理したいスタイルを指定します。

[参照追加] をクリックすると、[段落・文字スタイル一覧] のダイアログが表示され、ドキュメントのスタイルが参照できます。

[追加] をクリックすると、[あふれ処理設定] のダイアログが表示されます。

段落・文字スタイル一覧

設定するスタイルを選択し、[OK] をクリックします。

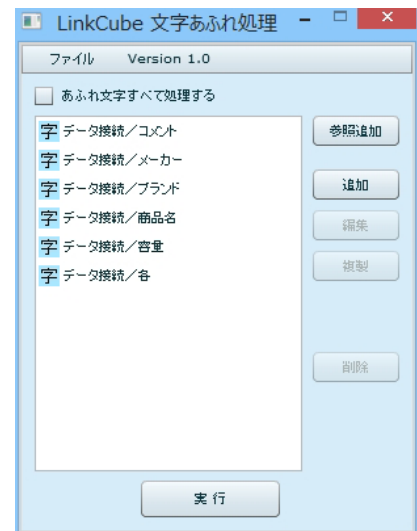
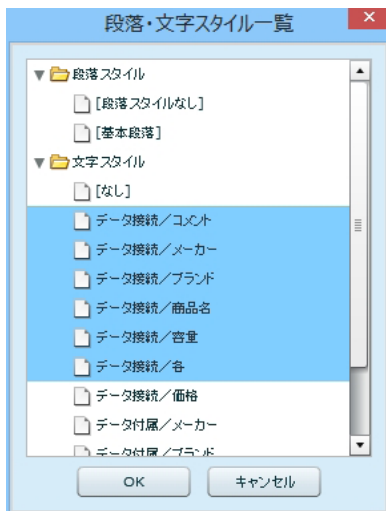
選択したスタイルが表示されます。

スタイル名について
Tips

入力する場合、スタイルグループに入っているスタイルは／で区切り、入力します。

例えば、データ接続グループ内の商品名というスタイルの場合、
 データ接続／商品名 となります。

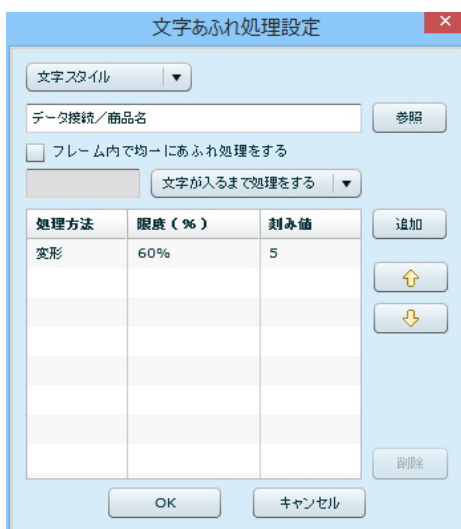
同じスタイル名は追加できません。



あふれ処理設定

あふれ処理をするスタイルを選択し「編集」をクリック、またはスタイルをダブルクリックすると「あふれ処理設定」を表示します。

スタイルを「追加」された場合は、スタイル名が空のなので、スタイル名を入力するか、「参照」をクリックし、ドキュメントのスタイルを参照してください。



「あふれ文字すべて処理する」の場合は処理方法のみ指定できます。



フレーム内で均一にあふれ処理する

「フレーム内で均一にあふれ処理する」にチェックが入った場合は「文字が入るまで処理をする」のみ選択できます。行長指定または行数指定する場合は、「フレーム内で均一にあふれ処理する」のチェックを外してください。

処理前

●フルHDの約4倍の解像度で高精細
●バックライトのちらつきをなくした「フレッカーレス」設計
※目に与える影響が懸念されているブルーライト

処理後

フレーム内均一あふれ処理をする

●フルHDの約4倍の解像度で高精細
●バックライトのちらつきをなくした「フレッカーレス」設計
※目に与える影響が懸念されているブルーライトを、ディスプレイ本体で低減することができる

フレーム内均一あふれ処理をしない

●フルHDの約4倍の解像度で高精細
●バックライトのちらつきをなくした「フレッカーレス」設計
※目に与える影響が懸念されているブルーライトを、ディスプレイ本体で低減することができる

上3行と下2行を均一にあふれ処理をしました。

上2行だけあふれ処理をしました。

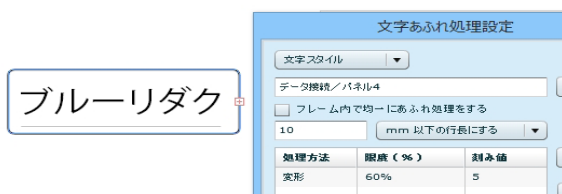
行長指定・行数指定

行長指定の場合は、「mm以下の行長にする」を選択し、数値（mm）を入力してください。

行数指定の場合は、「行以下にする」を選択し、数値（整数）を入力してください。

制限事項：行長指定と行数指定は全ての文字がフレーム内に表示されていなければなりません。

このように文字の一部のみ表示している場合には、処理できません。



文字あふれ処理方法

3通りの処理方法があります。

横組は水平比率・縦組は垂直比率、フォントサイズ、複数行時の行送りの変更です。

比率の変更の単位は%です。フォントサイズの単位はQ・ptを指定してください。単位がない場合はQになります。

行送りの単位はmm・H・ptを指定してください。単位がない場合はmmになります。

きざみ値に単位の入力はありません。

処理方法を追加する場合は、「追加」ボタンをクリックしてください。

削除する場合は、削除する処理方法を選択し、「削除」をクリックしてください。

あふれ処理の優先順位は、上から順になります。優先順位を変更する場合は、処理方法を選択して、[↑] [↓] のボタンで移動してください。

| 処理方法 | 限度 (mm pt H) | 刻み値 |
|------|--------------|-----|
| 変形 | 60% | 5 |
| サイズ | 8Q | 0.5 |
| 行送り | 10H | 1 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

スタイルのあふれ処理 優先順位

並び替えたいスタイルを単一、または複数選択し、ドラッグ&ドロップしてください。

但し、同じフレーム内に「フレーム内で均一にあふれ処理をする」にチェックがあるものとないものが混在する場合、「均一にあふれ処理をする」のチェックがない方を先に処理します。

下記の例では、太字の文字が「均一にあふれ処理をする」にチェックがないため、先に処理しました。

処理前

ブルーリダクション搭載、保護ガラスフィルター搭載モデル

- フル HD の約 4 倍の解像度で高精細
- バックライトのちらつきをなくした

処理後

ブルーリダクション搭載、保護ガラスフィルター搭載モデル

- フル HD の約 4 倍の解像度で高精細
- バックライトのちらつきをなくした「フレッカーレス」設計

※目に与える影響が懸念されているブルーライトを、ディスプレイ本体で低減することができる

スタイルのあふれ処理 複製

複製したいスタイルを選択し、複製をクリックします。

「元の名前のコピー」のスタイルが作成されます。

あふれ処理設定も複製されます。スタイル名を修正してください。

ファイルメニュー 開く・保存・終了

「開く」：文字あふれ処理の設定値ファイルを開きます。

「保存」：文字あふれ処理の設定値をファイルに保存します。

設定値ファイルの拡張子は、json になります。

LinkCube ファイル連続変換の処理追加で使用できます。

「終了」：LinkCube 文字あふれ処理プログラムを終了します。

対応 OS・対応 InDesign

対応 OS:

Windows・Mac OS X

対応 InDesign:

InDesignCS4～InDesignCC2014

更新情報

バージョン: 1.1

2015年7月30日更新

ソフトウェアに関するお問い合わせ先

合同会社リンクキューブ

mail: info@link-cube.net